

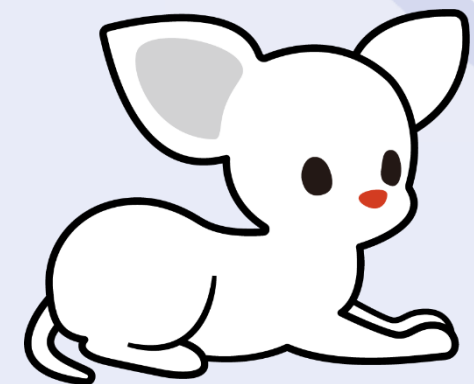
スマラジ SmartDB Radio

もっと活用！
「SmartDB」 Q&A 会

SmartDBの評価式を活用して業務効率アップ



2022年10月5日
株式会社ドリーム・アーツ



本日のDAメンバー

講師



氏名 森本 圭一
所属 コアビジネス本部 EAグループ
出身 兵庫県西宮市
経歴 (入社前) Javaなどのスクラッチ開発
→ (入社後) 製品導入PJT・導入提案
趣味 テニス、映画鑑賞、温泉

サポート



氏名 江森 志保
所属 マーケティング本部 マーケティングG
出身 東京都
経歴 サポート→導入プロジェクト→マーケ
趣味 最近は子供の食事作り、写真撮影、ドラえもん

サポート



氏名 當間 茜
所属 協創パートナー推進本部 CSX3
出身 沖縄県
経歴 インフラ→製品テスト→サポート
趣味 テニス、カラオケ

“スマラジ！”とは SmartDB Radio



SmartDBコミュニティの紹介



特定テーマ 議論の会
隔月開催



特定機能 深堀りの会
隔月開催

SmartDBの定期開催イベント

本日のテーマは…

評価式



本日の流れ

No.	時間	所要	内容
1	15:55	5分	お願い事項、企画趣旨について
2	16:00	40分	基本概要 評価式の基本的な使い方 部品への設定方法 など
3	16:40	10分	事前質問への回答
4	16:50	10分	活用事例の紹介
5	17:00		終了（アンケートのお願い）

★終了後30分ほど講師は残ります。ご質問などにご活用ください。

評価式について

1. 評価式とは
2. 基本的な使い方（基本編、応用編）
3. 関数の種類
4. 部品への設定方法
5. 事前質問への回答
6. 活用事例
7. 便利なサポートコンテンツ

1. 評価式とは

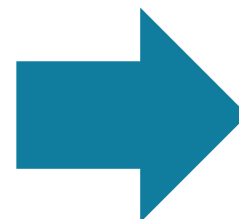


「カスタム文書タイトル」、「各部品の評価式」、「イベントハンドラ(文字列評価式)」で使用可能な関数などを組み合わせてデータを作成する方法です。

評価式を使って、以下の操作ができます。

1. 情報参照 (文書内の他部品値や他のバインダの部品値、文書基本情報、アカウント基本・拡張情報)
2. 自動計算 (数値計算や日付計算など)
3. 文字列操作
4. 複数部品の情報を結合
5. 数値や日付のフォーマット変換

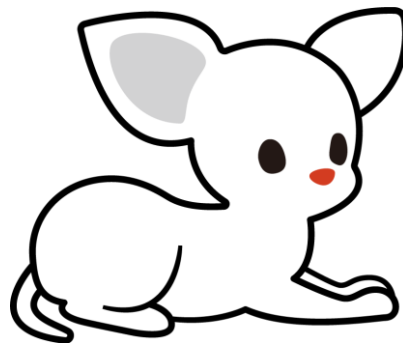
1. 情報参照（文書内の他部品値や他のバインダの部品値など）
2. 自動計算（数値計算や日付計算など）
3. 文字列操作
4. 複数部品の情報を結合
5. フォーマット変換



入力負荷の軽減

入力ミスの防止

表示方法の統一



利用者だけでなく
管理者もラクになって
業務効率化につながるよ！

2. 基本的な使い方



基本的な使い方

基本編

- 1 : マスタバイндаの情報参照
- 2 : 行単位の金額計算
- 3 : 文書全体の合計金額計算

応用編

- 1 : 日付の差分計算
- 2 : 条件による価格の適用



利用シーン（基本編）

マスタバイндаの情報参照

フォーム定義 [15548] 見積書

レイアウトブロック一覧 編集 <<

部品名、キー、IDで検索

レイアウトブロックを追加

見積明細

[非表示] 品	品目	数量	単価	金額
[...] 品目選択	[非表示] 品目名1	[...] 数量	[非表示] 単価 円	[非表示] 金額 円
[...] 品目選択	[非表示] 品目名2	[...] 数量	[非表示] 単価 円	[非表示] 金額 円
[...] 品目選択	[非表示] 品目名3	[...] 数量	[非表示] 単価 円	[非表示] 金額 円
[...] 品目選択	[非表示] 品目名4	[...] 数量	[非表示] 単価 円	[非表示] 金額 円

部品編集

基本設定 評価式

評価式を利用する

評価式

評価式一覧を開く

この評価式を有効にする

下記条件のすべてに一致する

評価式

```
lookup(10021,'Product_Name')
```

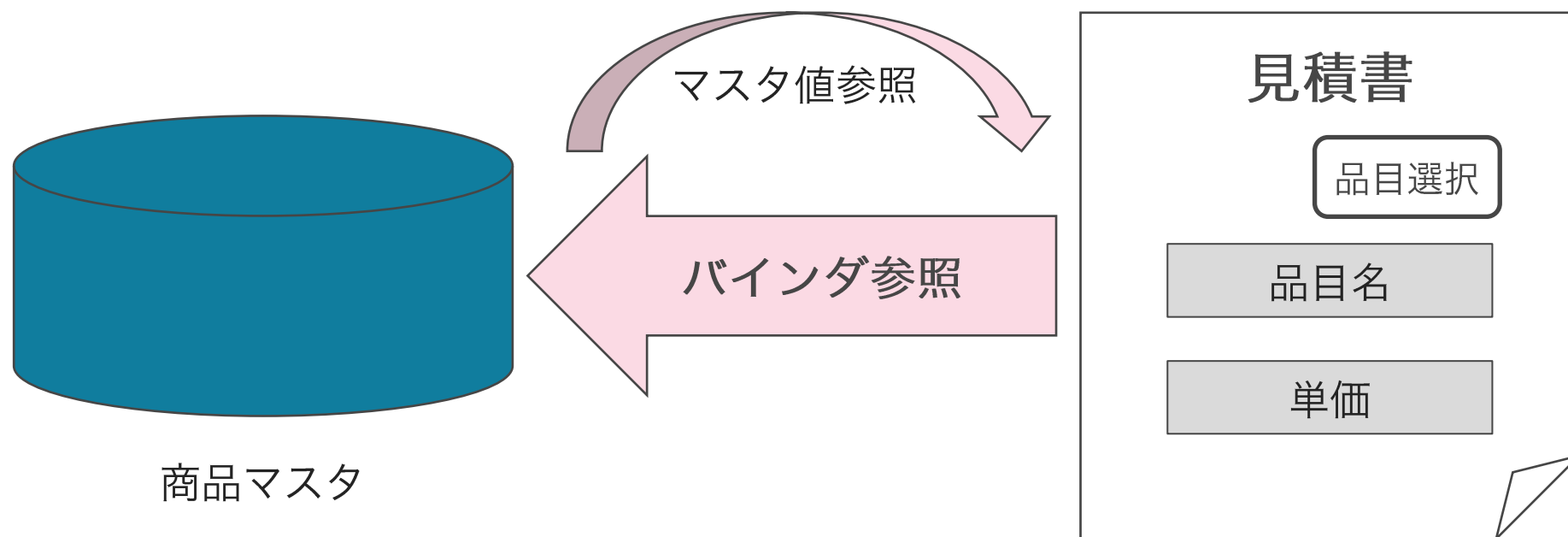
削除 編集

設定を追加

評価式の設定

- ・ 関連部品
- バイнда参照部品
- テキスト（1行）部品
- 数値部品

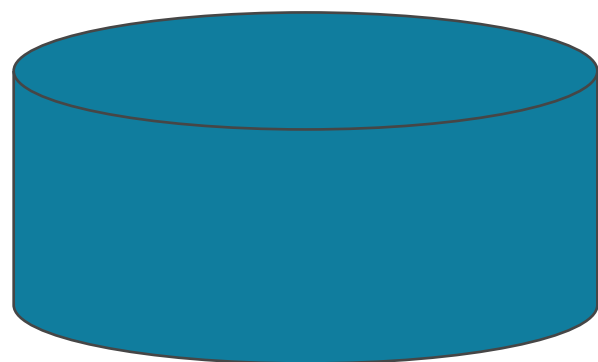
マスタバイндаの情報参照



バイнда参照部品「品目選択」ボタンで商品マスタバイндаを参照
商品マスタにある「品目名」「単価」を評価式で参照

- ・ 利用評価式
lookup()

行単位の金額計算



商品マスタ

バイнда参照

見積書

品目選択

品目名

単価

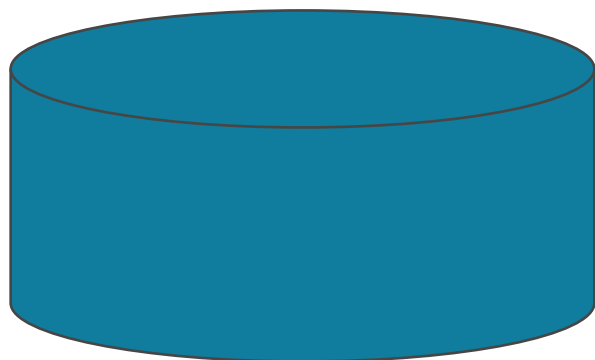
数量

金額

参照している「単価」と入力された「数量」で「金額」を計算

- ・利用評価式
数値計算 (*)

文書全体の合計金額計算



商品マスタ



バイнда参照

見積書				
品目選択	品目名	単価	数量	金額
品目選択	品目名	単価	数量	金額
品目選択	品目名	単価	数量	金額
品目選択	品目名	単価	数量	金額
				値引き額
				合計金額

各行の「金額」と「値引き額」で「合計金額」を計算

・利用評価式

sum(部品ID . . .)

リスト型部品の場合、list('sum', 部品ID)

日付の差分計算

回付所要時間 ⓘ

[非表示] 所要時間 分

業務開始から回付完了までの所要時間

[非表示] 回付終了日時・業務開始日時

+ レイアウトブロックを追加

回付開始・終了 ⓘ

業務開始日時

2022年 9月 2日 14時 38分

回付終了日時

--年 --月 --日 --時 --分

評価式 ⓘ

この評価式を有効にする

下記条件のすべてに一致する

評価式

```
dateDiffInMinutes([10110],[10109])
```

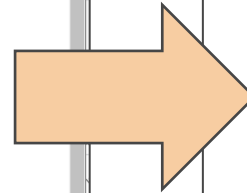
削除 編集

- ・ 関連部品
日付選択部品
数値部品
- ・ 利用評価式
dateDiffInMinutes()

Start直後・End直前の汎用ロボットで日時を自動設定

「業務統計情報」でワークフローの所要時間を確認することができます。
ただ、「業務統計情報」は権限のないユーザが確認できないため、誰でも業務改善効果を確認できるようにしている例です。

条件による価格の適用



評価式一覧

有効かつ条件に合致する最上位の評価式を実行します。

有効	条件	評価式	実行順	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	▼ 数量1が101以上	lookup(10021,'price2')	1	編集
<input checked="" type="checkbox"/>		lookup(10021,'price1')	2	編集

[+ 評価式を追加](#)

入力された数量により適用する単価を切り替える
 数量101以上は「大ロット価格」を適用、それ以外は「小ロット価格」を適用
 ※なお、リスト型部品内の部品を対象項目としたフィルタは作成できません。

3. 関数の種類



評価式の関数

1.数値演算

数値の四則演算や複数値の合計・平均、数値フォーマット変換などの関数

2.日付演算

日付の和差計算や日付フォーマット変換などの関数

3.文字列操作

文字列を操作（文字列結合、文字列分割）するための関数

4.リスト型部品

リスト型部品の繰り返し行の合計値や平均値、行数を取得する関数

5.ブランチ部品

ブランチ部品に表示されている文書の部品値の合計値や平均値、件数を取得する関数

6.値参照

バイнда参照している文書の部品値を参照する関数

多段階でのバイнда参照も可能（最大3段階、 Basicプラン・Ver.5.2.0以降で利用可能）

7.その他

値をクリアする関数

※関数の詳細は、[SmartDBバイнда作成ガイド 評価式関連資料](#)を参照してください。

評価式での参照可能項目

1. 文書基本情報

文書番号や登録・更新情報を参照可能

2. アカウント情報

ユーザやグループの属性情報を参照可能

※参照可能項目の詳細は、[SmartDBバイнда作成ガイド 評価式関連資料](#)を参照してください。

数値や日付のフォーマット

数値フォーマットの例			
項目	表示フォーマット	入力値	表示
桁区切りなし	#	123456789	123456789
3桁区切り	###,###	123456789	123,456,789
3桁区切りで0埋め	000,000	1234	001,234
3桁区切りと小数第2位までの表示 (※)	###,###.00	123456.789	123,456.79
3桁区切りと小数第3位までの表示 (※)	000,000.###	12345.6784	012,345.678
3桁区切りで小数第4位までの表示で0埋め	000,000.0000	1234.567	01,234.5670
小数第1位まで%表示	##.0%	0.345	34.5%
日付フォーマットの例			
フォーマット	入力値	表示	
yyyy/M/d	2022/9/1	2022/9/1	
yyyy/MM/dd (E)	2022/9/1	2022/09/01 (木)	
yyyy年M月d日	2022/9/1	2022年9月1日	
yyyy年MM月dd日 EEEE	2022/9/1	2022年09月01日 木曜日	
yyyy/M/d H:mm	2022/9/1 9:05	2022/9/1 9:05	
yyyy/MM/dd HH:mm	2022/9/1 9:05	2022/09/01 09:05	
yyyy/MM/dd a h:mm	2022/9/1 9:05	2022/09/01 午前 9:05	
yyyy年M月d日 HH時mm分	2022/9/1 9:05	2022年9月1日 09時05分	
H:mm	9:05	9:05	
HH:mm	9:05	09:05	
aH:mm	9:05	午前9:05	
H:mm:ss	9:05	9:05:00	

※「もっとも近い数字」に丸めます。
ただし、両隣の数字が等距離の場合は、偶数側に丸めます。
破棄する小数部の左側の桁が奇数の場合は四捨五入、偶数の場合は五捨六入となります。

年はyyyy（小文字）で指定します。YYYYを指定すると「暦週の基準年」となります。
月はMM（大文字）で指定します。mmを指定すると「分」となります。

※数値フォーマットの詳細は、[SmartDBバイнда作成ガイド 数値入力ボックス](#)を参照してください。

※日付フォーマットの詳細は、[SmartDBバイнда作成ガイド 日付選択](#)を参照してください。

4. 部品への設定方法



【参考】 評価式を利用できる部品

部品	
フォーム定義の場合	新フォーム定義の場合
文字列入力ボックス	テキスト（1行）
数値入力ボックス	数値
文章入力エリア	テキスト（複数行）※
複数選択	チェックボックス
単一選択（項目）	ラジオボタン
単一選択（メニュー）	プルダウン
入力可能な単一選択（メニュー）	入力可能なプルダウン
日付選択	日付
アカウント選択（ポップアップ）	アカウント選択
ファイルフォルダ	ファイル
自動採番	自動採番
自動更新部品	自動更新部品
カテゴリ	カテゴリ

※ 改行入りで複数行を入力している場合、評価式で扱うと改行が無視され一行のテキストとして扱われます。

改行を入れたい場合は、“¥n”で区切ってください。参考FAQ：[評価式の出力結果で改行することはできますか](#)

部品への評価式追加

1. フォーム定義で部品を選択します。
2. 「評価式」タブを押下します。
3. 「評価式を利用する」チェックを入れます。
4. 「設定を追加」リンクを押下します。
5. 画面が「条件と評価式」に切り替わります。



評価式の設定①

部品編集

基本設定 評価式

評価式の設定

部品値の編集

編集可否

編集可能にする

手動更新アイコン表示

初期値に評価式を使用

自動更新

自動更新モード

更新する

空の場合のみ更新する

エラー時の処理

保存

1. ユーザによる編集可否を指定

チェックを入れると、文書編集時に部品値を編集できます。

2. 手動更新アイコンの表示／非表示を指定

チェックを入れると、手動更新アイコンが部品右側に表示されます。
手動更新アイコンをクリックすることで、部品値を最新の状態に更新できます。

3. 初期値に対する評価式の実行可否を指定

チェックを入れると、部品の初期値として評価式を実行します。

4. 参照する部品値が変更された時の更新条件を指定

評価式から参照する部品の値が更新された場合の更新条件を指定できます。

※ 2～4の項目は評価式が「編集可能にする」の場合に表示されます。

評価式の設定②

部品編集

基本設定 評価式

自動更新

自動更新モード

更新する

空の場合のみ更新する

エラー時の処理

参照エラー時の処理

評価を中止する

0もしくは空文字列として扱う

条件を満たさないとき

元の値を保持する

値をクリアする

保存

5. 参照エラー時の処理を指定
参照エラーとなった場合の処理を指定します。
6. 条件を満たさない時の処理を指定
設定した評価式の条件すべて満たさない場合の処理を指定します。
7. 評価式と実行条件を設定
「保存」ボタン押下で設定内容が保存されます。

条件と評価式画面①

条件と評価式

キャンセル 保存

条件 評価式

部品一覧 関数一覧

レイアウトブロックから絞る

部品ID・キー・項目名を入力

> [10004] 従業員番号

> [Employee] 発生者 評価式に追加

[10005] 期限日

文書番号

登録日時

> 登録ユーザ

最終更新日時

> 最終更新ユーザ

評価式入力ボックス

クリア

「部品一覧／関数一覧」エリア

「評価式入力ボックス」エリア

1. 「部品一覧／関数一覧」エリア

フォーム内の部品一覧と用意されている関数一覧を切り替えて表示します。

部品一覧の場合、「レイアウトブロックから絞る」「部品ID・キー・項目名を入力」で部品を絞り込むことが可能です。

マウスオーバーすると「評価式に追加」リンクが表示されます。

2. 「評価式入力ボックス」エリア

実際に評価式を設定します。

「部品一覧／関数一覧」エリアで「評価式に追加」リンクをクリックすると「評価式入力ボックス」に転記されます。

「クリア」ボタン押下で内容をすべてクリアします。

条件と評価式画面②



1. 「フィルター一覧」エリア

バイнда内の定義済みフィルタを表示します。適用したいフィルタのチェックボックスをONにします（適用を外す場合はOFF）。フィルタ名で絞り込むことが可能です。フィルタをクリックするとフィルタの設定内容が表示されます。複数のフィルタを選択した際に、「下記条件のすべてに一致する」「下記条件のいずれかに一致する」で組み合わせ方法を設定します。

2. 「選択済み」エリア

すでに選択されているフィルタを表示します。

「フィルター一覧」エリア

「選択済み」エリア

条件と評価式画面③

条件と評価式

キャンセル 保存

条件 評価式

部品一覧 fn 関数一覧

レイアウトブロックから絞る

Q 部品ID・キー・項目名を入力

▼ [10007] 登録部署

[mid] アカウント番号

[name] 名前

[phoneticName] 名前 (ふりがな)

[email] メールアドレス

[description] メモ

[primaryAssignedAccountId] 所属
組織番号

[primaryAssignedAccountName] 所
属

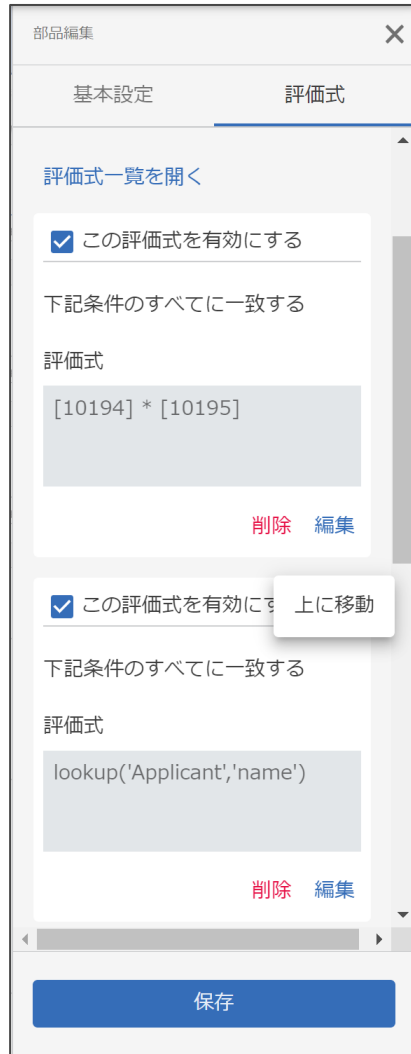
評価式入力ボックス ⓘ

```
lookup(10007,'name')
```

クリア

「評価式」「条件」などの設定が終わった際には、右上の「保存」ボタン押下を忘れないように！

既存評価式の設定



1. 評価式一覧を開く

設定済みの評価式一覧を表示します。

2. この評価式を有効にする

評価式の実行をするか否かを設定します。
チェックを外すと評価式は実行されません。

3. 「上に移動」（複数の評価式が設定されている場合）

評価式の実行順を変更できます。

4. 評価式一覧

評価式の実行順変更や有効／無効の切り替え、評価式の編集をすることができます。

ドラッグ&ドロップで
実行順を変更可能



評価式の実行順

評価式は、有効な定義が上から順番に評価されます。
条件が一致するとその評価式が実行され、処理が終了します。以降の条件は、無視されます。
全ての条件に合致しない場合は、「条件を満たさない時」に指定した処理
（「元の値を保持する」あるいは「値をクリアする」）が行われます。

評価式一覧 閉じる

! 有効かつ条件に合致する最上位の評価式を実行します。

有効	条件	評価式	実行順	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	▼ 選択がA	lookup(10004,'AccountID')	1	編集
<input checked="" type="checkbox"/>	▼ 選択がB	lookup(10004,'EmployeeNo')	2	編集
<input checked="" type="checkbox"/>		lookup(10004,'_docId')	3	編集

+ 評価式を追加

上から順に実行！

この例の場合、条件「選択がA」が真（TRUE）の場合、条件「選択がB」以降は無視します。
また、条件「選択がA」および条件「選択がB」に合致しない場合、無条件である3番目の評価式が実行されます。

事前質問への回答



No.	QA
1	<p>Q : dateDiffInYears関数が年数しか見ないため、月・日の大小も考慮するようにして、ユーザーの誕生日と現在日付から現在の年齢を計算する評価式をかなり泥臭い形で組んだが、簡単な方法はあるでしょうか。</p> <p>A : 数値部品の評価式で計算が可能です。</p> <p>1) 基準日→数値に変換 (Date1Num) <code>formatDate ([DATE1], "yyyy")+formatDate ([DATE1], "MM")+formatDate ([DATE1], "dd")</code></p> <p>2) 生年月日→数値に変換 (Date2Num) <code>formatDate ([DATE2], "yyyy")+formatDate ([DATE2], "MM")+formatDate ([DATE2], "dd")</code></p> <p>3) (1の数値 - 2の数値)/10000 →小数点以下を切り捨てる <code>roundNumberDown ([Date1Num]-[Date2Num])/10000,0)</code></p>
2	<p>Q : 評価式で、アカウント部品（複数人選択可）とアカウント部品を結合出来るか？ カンマで結合したが、うまく反映しませんでした。 評価式で複数のアカウント部品を、繋げたいが、うまく反映しなかったが、方法はありますか？</p> <p>A : 文字列としてカンマ区切りで結合することが可能です。 [アカウント部品1] + ',' + [アカウント部品2] ... <code>concatenate ([アカウント部品1], ',', [アカウント部品2])</code></p>
3	<p>Q : 評価式で、文字を設定できるか？ “-“のような記号は設定出来るようだが、“要”だと、エラーになる。</p> <p>A : 文字コードの組み合わせによる解釈エラーが原因で、「不正な評価式です」となることがあります。 固定文字でエラーとなる場合には、ダブルクォートとシングルクォートを切り替えて試してください。 ※なお、現時点のBasicプラン、V5.2.0以降では改善されています。</p>

No.	QA
4	<p>Q：評価式を入れて編集可能にしている部品は一括再計算ができないようですが、仕様でしょうか？</p> <p>A：現状は仕様となります。 編集可能な場合、ユーザが値を変更していることが考えられます。 無条件で一括再計算をしてしまうと、ユーザが変更した値が無条件で上書きされるためです。</p>
5	<p>Q：関数が増える予定があれば教えて欲しい。</p> <p>A：現時点では、評価式を増やす予定はありません。</p>
6	<p>Q：編集可能としたときに、自動更新モード「常に更新しない」はどのようなときに使用すると良いのか？</p> <p>A：初期値として、評価式で取得した値を使用するようなケースを想定しています。</p>
7	<p>Q：その月の、第〇営業日を取得するにはどうしたらよいか。 例：9月の第3営業日を取得する。→9/5</p> <p>A：次のような形で取得可能です。 <code>addWorkDays (addDays (formatDate (now () , "yyyyMM01") , -1) , 3)</code></p>

No.	QA
8	<p>Q：稟議書などで部署ごとに稟議No.を採番しているケースがあるのですが、自動採番で部署A-0001～、部署B-0001～のように、部署ごとに独立した採番を評価式で設定できますか。</p> <p>A：設定可能です。自動採番部品では、「文字列（左）」ごとに採番をすることができます。 「文字列（左）」で「評価式を利用する」をチェックします。 例えば、部署ごとの略称を保持する部品を参照することで、部署ごとに採番することが可能です。 ※年ごとに自動採番する場合も同様になります。評価式：<code>concatenate(formatDate(now(),'yyyy'),'-')</code></p>
9	<p>Q：自動更新部品と自動採番はツリーの項目に設定できないようですが、評価式で取得した事業年度をビューのツリーの項目に設定できませんか。</p> <p>A：ツリー項目用に選択部品を用意します。選択部品の評価式で、取得した事業年度を設定することでツリー項目とすることが可能です。</p>
10	<p>Q：評価式に関数の入れ子を設定できますか？</p> <p>A：可能です。No.8の回答のような形になります。</p>
11	<p>Q：何かやりたいと思った時に、利用できる関数の調べ方について知りたい</p> <p>A：新フォーム定義では「関数一覧」から選択が可能です。 詳細については、製品ガイド「評価式関連資料」を参照してください。</p>

5. 評価式の活用事例



clear() 関数の利用例

ある条件のときだけ値を参照し、条件を満たさないときは値をクリアする場面で利用します。

例：通知の宛先を部品で持ち、チェックを付けると宛先を追加する

チェックなし

チェックあり

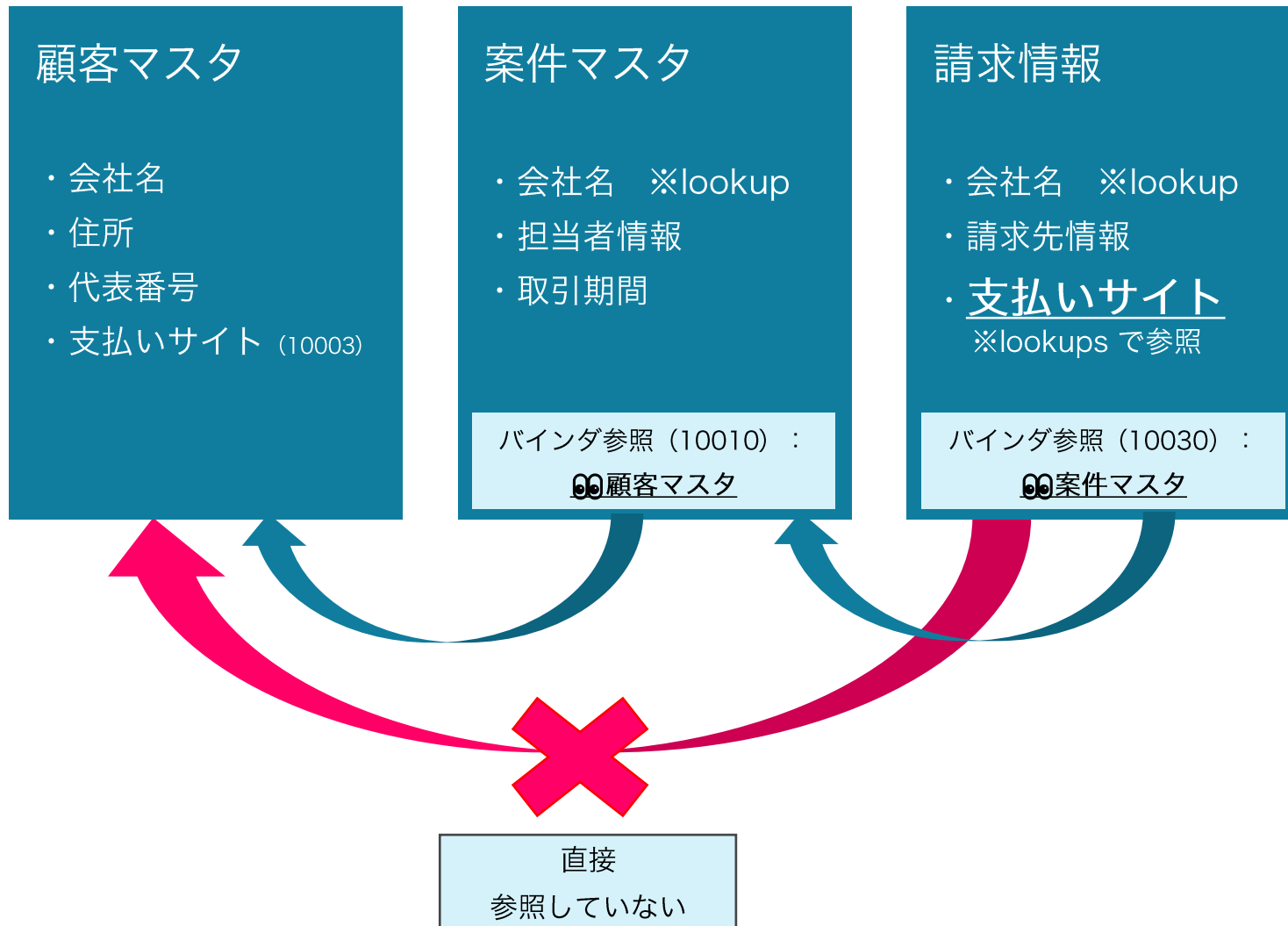
■追加宛先（アカウント部品）の評価式設定

有効	条件	評価式
<input checked="" type="checkbox"/>	▼ 対象者の上長にもメールを送る	lookup(10047,'superiorPrincipal')
<input checked="" type="checkbox"/>		clear()

チェックがあるとき、メール送信対象者（10047）の上長（superiorPrincipal）を取得

それ以外のときは値をクリアする

多段階 (lookups) の利用例



- 💡 「請求情報」 バインダは、「案件マスタ」だけを参照している
- 💡 「請求情報」 バインダにも「支払いサイト」の項目を表示したい！

【ここで、lookups 関数の出番！】
「参照しているバインダが、参照している」バインダの値を、直接取得することができます。

例) `lookups(2,10030,10010,10003)`
10030: 「請求情報」で案件マスタを参照しているバインダ参照部品
10010: 「案件マスタ」で顧客マスタを参照しているバインダ参照部品
10003: 「顧客マスタ」の「支払いサイト」の部品ID

アカウント部品の評価式（住所取得）

アカウント部品にて「基本項目」にない情報を独自に定義し、評価式で取得することもできます。

例：住所登録管理バイндаにて、ユーザーの情報に住所を登録し自動で取得したい

■ 「ユーザ個人情報」ラベル設定：

The screenshot shows the 'ユーザ個人情報' (User Personal Information) settings page. The left sidebar contains a navigation menu with items like 'ダッシュボード', 'アカウントマスタ設定', '管理者設定', 'アカウントマスタ連携', '機能設定', 'ラベル設定', 'ワークスタイル設定', 'トークン実行者名', '拡張項目設定', '組織ロール設定', '認証とセキュリティ', and 'メンテナンス'. The main content area is titled 'ユーザ個人情報' and '個人情報 ラベル設定'. It displays a grid of 10 personal information items, each with a label and a value. The first item, '個人情報01' with the label '住所', is highlighted with a red box. A '保存' (Save) button is located at the bottom of the page.

ユーザ業務情報	ユーザ個人情報	グループ拡張項目	ユーザ非公開情報
	個人情報 ラベル設定		
	個人情報01 住所	個人情報02 個人情報02	
	個人情報03 個人情報03	個人情報04 個人情報04	
	個人情報05 個人情報05	個人情報06 個人情報06	
	個人情報07 個人情報07	個人情報08 個人情報08	
	個人情報09 個人情報09	個人情報10 個人情報10	

システム管理画面＞ラベル設定＞
拡張項目設定＞ユーザ個人情報

にて、任意の項目に「住所」という
ラベルを設定します。

アカウント 部品の評価式（住所取得）

■ユーザ設定：



システム管理画面>アカウントマスタ設定>ユーザ
任意のユーザの編集画面にて、「拡張項目」タブを開きます。

個人情報の「住所」の箇所に住所を入力します。
※ラベルで設定した項目が設定されています。

アカウント 部品の評価式（住所取得）

■評価式設定：

取得イメージ

メール送信対象者

対象者の住所

沖縄県那覇市1234

選択

テキスト（1行）に、評価式を設定します。

▼ [10047] メール送信対象者

[mid] アカウント番号

[name] 名前

[shortName] 名前 (7桁以内)

[PROF01] 住所

[PROF02] 個人情報02

[PROF03] 個人情報03

[PROF04] 個人情報04

この評価式を有効にする

下記条件のすべてに一致する

評価式

lookup(10047,'PROF01')

削除 編集

「ラベル設定」をすることでユーザの情報に任意の項目を持たせることができます。

例) 住所、性別、入社年、等

アカウント部品の評価式（メンター・秘書）

例：メンターや秘書等、ユーザ毎に異なるユーザを設定したい場合

■ 「ユーザ業務情報」ラベル設定：

> ダッシュボード	ユーザ業務情報	ユーザ個人情報	グループ拡張項目	ユーザ非公
> アカウントマスタ設定	業務情報 ラベル設定			
> 管理者設定	業務情報01 メンター	業務情報02 秘書		
> アカウントマスタ連携				
> 機能設定	業務情報03 業務情報03	業務情報04 業務情報04		
▼ ラベル設定	業務情報05 業務情報05	業務情報06 業務情報06		
ワークスタイル設定				
トークン実行者名	業務情報07 業務情報07	業務情報08 業務情報08		
拡張項目設定	業務情報09 業務情報09	業務情報10 業務情報10		
組織ロール設定				

（利用シーン）

💡 新人研修バインダで、新人の担当メンターを参照したい場面

💡 役員のみ閲覧可能な文書に対し、秘書も閲覧者に加えるために参照したい場面

システム管理画面 > ラベル設定 > 拡張項目設定 > ユーザ業務情報

※ユーザ個人情報でも可

にて、任意の項目に「メンター」や「秘書」というラベルを設定します。

アカウント部品の評価式（メンター・秘書）

■ユーザ設定：

SmartDB ユーザ > 当間 茜

ダッシュボード

アカウントマスタ設定

ユーザ

組織

プロジェクト

招待

グループ階層表示

コラボレーター

一覧へ戻る

基本項目 詳細項目 **拡張項目** 非公開情報 言語別情報

業務情報

メンター	秘書
1000013	1000017

業務情報03 業務情報04

「拡張項目」で、ユーザの情報をセットするときは名前ではなく、「MID」で指定します。

※MIDの確認方法は以下よりご確認ください。

- ・ [システム管理者がMIDを確認する方法](#)
- ・ [システム管理者以外の方がMIDを確認する方法](#)

アカウント部品の評価式 (メンター・秘書)

■ 評価式設定 :

取得イメージ

メール送信対象者 対象者のメンター 対象者の秘書

アカウント部品
に、評価式を設定します。

▼ [10047] メール送信対象者

[mid] アカウント番号

[name] 名前

[shortName] 名前 (7桁以内)

[title_name] 敬称

[INFO01] メンター

[INFO02] 秘書

[INFO03] 業務情報03

この評価式を有効にする

下記条件のすべてに一致する

評価式

`lookup(10047,'INFO01')`

「アカウント部品」でユーザの情報を参照するときは、必ず「MID」や「GID」等のIDで指定する必要があります。

アカウント部品の評価式（所属組織）

アカウント部品の情報を参照するとき、部品によって指定する情報が異なります。

メール送信対象者 [検索] 三間 茜 [選択]

プライマリ所属 (アカウント部品) CSX3 1

プライマリ所属 (テキスト) CSX3 2

アカウント部品で参照するときは「ID」を、
テキスト部品で参照するときは「Name」を参照します

■ 評価式設定：

▼ [10047] メール送信対象者

- [mid] アカウント番号
- [name] 名前
- [phoneticName] 名前 (ふりがな)
- [email] メールアドレス
- [description] メモ
- [primaryAssignedAccountId] 所属組織番号
- [primaryAssignedAccountName] 所属組織
- [employeeNumber] 社員番号

この評価式を有効にする 1

下記条件のすべてに一致する

評価式

```
lookup(10047,'primaryAssignedAccountId')
```

削除 編集

この評価式を有効にする 2

下記条件のすべてに一致する

評価式

```
lookup(10047,'primaryAssignedAccountName')
```

削除 編集

ブランチビューの利用例

ブランチビューには、ブランチ文書の数と、数値部品に対する合計値、平均値を取得できる評価式があります。

設定後イメージ

申請者 堂間 茜	申請者の社員番号 462	予算名 製品開発予算
予算額 1,000,000 円	残高 256,000 円	
予算文書の数 200	実績 744,000 円	実績の平均 3,720

ユーザ文書の数	5
---------	---

ブランチビュー (予算ごと)

新規登録 一括登録

ブランチ部品用

>>ブランチ部品用
200件中 1~50件を表示しています。

操作	編集	登録日時	登録ユーザ	件名	ステータス	申請者	申請種別	予算選択	利用金額
1	詳細 編集	05:40	堂間 茜		申請前	堂間 茜	備品購入	製品開発予算	180,000
2	詳細 編集	05:40	堂間 茜		申請前	堂間 茜	備品購入	製品開発予算	50,000
3	詳細 編集	2022/06/08 15:30	堂間 茜	ああああ	申請前	堂間 茜	備品購入	製品開発予算	28,000
4	詳細 編集	2022/04/28	堂間 茜		申請前	堂間 茜	備品購入	製品開発予算	290,000

ブランチビュー (社員番号ごと)

新規登録

すべての文書

>>すべての文書
5件中 1~5件を表示しています。

操作	編集	登録日時	登録ユーザ	件名	ステータス
1	詳細 編集	05:40	堂間 茜		申請前
2	詳細 編集	05:40	堂間 茜		申請前

ブランチビューの利用例

■評価式設定：ブランチビュー部品を開くと、3つの評価式が選択可能です。

The screenshot displays the '評価式' (Evaluation Formula) configuration screen. On the left, under '部品一覧' (Component List), the component '[10005] ブランチビュー (予算ごと)' is selected and highlighted with a red box. A red arrow points from this component to the first '評価式入力ボックス' (Evaluation Formula Input Box) on the right, which contains the formula `branch('rows',10005)`. Another red arrow points from the '行数' (Number of Rows) field in the component list to the second '評価式入力ボックス', which contains `branch('sum',10005,10008)`. A third red arrow points from the '[10008] 利用金額' (Usage Amount) field to the third '評価式入力ボックス', which contains `branch('average',10005,10008)`.

6. 便利なサポートコンテンツ



便利なサポートコンテンツ

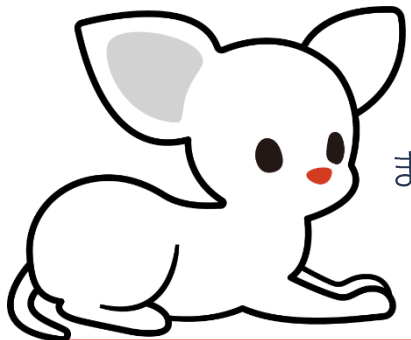
- ・ 基本機能説明、評価式で使える関数一覧など
 - : [製品ガイド バインダ作成編 評価式関連資料](#) (Basicプランをご利用の方はこちら)
 - : [製品ガイド 文書管理編 評価式関連資料](#) (オンプレミス/DCSをご利用の方はこちら)
- ・ 補足_設定画面の詳細説明、各部品への入出力フォーマットなど
 - : [サポートサイト らく楽逆引き集～便利帳～ \(評価式\)](#)
- ・ Tips
 - : [サポートサイト FAQ](#)
 - : [サポートサイト 評価式レシピ](#)
 - 例) [部品に入力された日付の翌月末の日付を取得したい](#)、など、各種活用方法を公開中！

アンケートのお願い

本日はありがとうございました。

今後の改善のためにいろいろご意見頂戴できれば幸いです。

<https://forms.office.com/r/N6QyL2NzDA>



また次回もお楽しみに